

患者の流れ<病床の機能分化> (平成30年度版)

高度急性期
急性期

- A100 急性期一般入院料1**
- 看護配置: 7対1(看護師比率70%以上)
 - 平均在院日数: 18日以内
 - データ提出加算の届出
 - 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度: (I)30%以上 (II)25%以上
 - 医師数: 入院患者数の100分の10以上
 - 退院患者の80%以上が自宅等へ退院

- A100 急性期一般入院料2~7**
- 看護配置: 10対1(看護師比率70%以上)
 - 平均在院日数: 21日以内
 - データ提出加算の届出
 - 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度
 - ・入院料2: (I) 24%以上 (II) 24%以上
 - ・入院料3: (I) 23%以上 (II) 23%以上
 - ・入院料4: (I) 27%以上 (II) 22%以上
 - ・入院料5: (I) 21%以上 (II) 17%以上
 - ・入院料6: (I) 15%以上 (II) 12%以上
 - ・入院料7: (I) (II) 測定していること

回復期

- A308 回復期リハビリテーション病棟入院料 <共通の要件>**
- 回復期リハの必要性の高い患者が80%入院 ● 1日平均2単位以上のリハビリ実施
 - ※ リハビリテーションの提供実績を相当程度有し、効果に係る相当程度の実績が認められない場合は、リハビリテーション料6単位以上が包括となる
 - 専任の常勤医師1名以上
 - 看護補助者: 30対1以上
 - リハビリテーション実績指数等の院内掲示等による公開
 - データ提出加算の届出(入院料5、6は200床以上の病院のみ)

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1、2**
- 専従の常勤PT3名以上、OT2名以上、ST1名以上
 - 看護配置: 13対1以上(看護師比率70%以上)
 - 新規入院患者のうち重症者(日常生活機能評価10点以上)の割合: 3割以上
 - 自宅等に退院する割合: 70%以上
 - 重症患者のうち3割以上が日常生活機能評価で4点以上改善
 - 専任の常勤社会福祉士1名以上
 - [入院料1のみ]
 - リハビリテーション実績指数: 37以上
 - 休日リハビリテーションの実施
 - 管理栄養士: 専任常勤1名(努力義務)
 - リハビリ計画書の栄養項目記載

- 回復期リハビリテーション病棟入院料3、4**
- 専従の常勤PT2名以上、OT1名以上
 - 看護配置: 15対1以上(看護師比率40%以上)
 - 新規入院患者のうち重症者(日常生活機能評価10点以上)の新規入院患者が2割以上
 - 自宅等に退院する割合: 70%以上
 - 重症患者のうち3割以上が日常生活機能評価で3点以上改善
 - [入院料3のみ]
 - リハビリテーション実績指数: 30以上

- 回復期リハビリテーション病棟入院料5、6**
- 専従の常勤PT2名以上、OT1名以上
 - 看護配置: 15対1以上(看護師比率40%以上)
 - [入院料5のみ]
 - リハビリテーション実績指数: 30以上

- A308 体制強化加算(回復期リハビリテーション病棟入院料1、2に対する加算)**
- 専従の常勤医師
 - ・加算1: 1名以上
 - ・加算2: 2名以上(一定の要件を満たせば他業務に従事可)
 - 専従の常勤社会福祉士1名以上

- A308-3 地域包括ケア病棟入院料・地域包括ケア入院医療管理料(60日) <共通の要件>**
- 特定機能病院以外の医療機関
 - 看護配置: 13対1(看護師比率70%以上)
 - 常勤PT、OT又はST1名以上
 - 専任の在宅復帰支援担当者1名以上
 - 1日平均2単位以上の提供
 - 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度: (I)10%以上 (II)8%以上
 - データ提出加算の届出
 - ※ 入院料・・・病棟単位、管理料・・・病室単位

- 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料1、3**
- 許可病床 200床未満
 - 診療実績
 - 自宅等から入棟した患者割合: 1割以上
 - 自宅等からの緊急患者受入: 3月で3人以上
 - 在宅医療等の提供実績
 - 看取りに対する指針
 - [入院料3のみ]
 - 在宅復帰率70%以上
 - 室面積6.4㎡以上

- 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料2、4**
- 管理料の場合、許可病床 200床未満
 - [入院料2のみ]
 - 在宅復帰率70%以上
 - 室面積6.4㎡以上

- A100 地域一般入院基本料1、2**
- 看護配置: 13対1(看護師比率70%以上)
 - 平均在院日数: 24日以内
 - [入院料1のみ]
 - 重症度、医療・看護必要度: 測定していること

- A100 地域一般入院基本料3**
- 看護配置: 15対1(看護師比率40%以上)
 - 平均在院日数: 60日以内

- A101 療養病棟入院基本料1、2**
- 看護配置: 20対1(看護師比率20%以上)
 - 看護補助者: 20対1
 - 褥瘡の発生割合等の継続的な評価
 - 看取りに対する指針
 - データ提出加算の届出(200床以上の病院のみ)
 - 医療区分2・3該当患者割合
 - 入院料1: 8割以上
 - 入院料2: 5割以上

- A101 在宅復帰機能強化加算(療養病棟入院基本料1に対する加算)**
- 療養病棟入院料1の届出病棟
 - 退院患者のうち在宅退院患者が1月以上(医療区分3の患者は14日以上)生活が継続している患者: 50%以上
 - 他病棟から転棟又は他病院から転院し、在宅に退院した患者数: 15%以上

慢性期

- 超強化型**
- 在宅復帰・在宅療養支援等指標70以上
 - 退所時指導、退所後の状況確認の実施
 - リハビリテーションマネジメントの実施
 - 地域貢献活動の実施
 - 週3回程度以上のリハビリテーションの実施

- 在宅強化型**
- 在宅復帰・在宅療養支援等指標60以上
 - 退所時指導、退所後の状況確認の実施
 - リハビリテーションマネジメントの実施
 - 地域貢献活動の実施
 - 週3回程度以上のリハビリテーションの実施

- 加算型**
- 在宅復帰・在宅療養支援等指標60以上
 - 退所時指導、退所後の状況確認の実施
 - リハビリテーションマネジメントの実施
 - 地域貢献活動の実施

- 基本型**
- 在宅復帰・在宅療養支援等指標20以上
 - 退所時指導、退所後の状況確認の実施
 - リハビリテーションマネジメントの実施

- その他型**
- 左記の要件を満たさない

在宅
(かかりつけ医)

- 居住系介護施設**
- 介護医療院
 - 特別養護老人ホーム
 - 有料老人ホーム
 - サービス付き高齢者向け住宅
 - 認知症高齢者グループホーム 等